JARAS1014(ELS通信仕様) 制定について

SEMI A1規格をベースにして、新時代のスマートファクトリー向けSMT実装設備の基板搬送通信仕様が完成しました!

- ・規格番号:JARAS1014、愛称:ELS(イーIルIス)
- ・このJARA規格では、以下を実現します
 - 1:SMT実装ラインにおけるネットワークを使用したM2Mの基板搬送(PLCをコントローラに使用の設備も考慮)
 - 2:SMT実装ライン全体の生産機種切替
 - 3:M2Mによる検査結果情報の受け渡し
 - ※M2M(Machine to Machine):実装ライン内のMachine同士での直接通信



● JARAS1014/ELSのロゴ



●2018年12月時点での参加企業:22社

















マイクロニック テクノロジーズ 株式会社





























●JARAS1014/ELS と 現在の通信規格:SMEMAなどとの機能比較

	機能	ELS	SMEMA	(参考) 類似M2M規格
従来	M2M PCB搬送信号	0	0	0
新機能	各種SMT設備への親和性	〇 PLC搭載機も可 SMEMAのみの機種も対応可	0	× PLC搭載機不可 SMEMAのみの機種不可
	M2M PCB情報受け渡し	0	×	0
	M2M 機種切り替え	0	×	0
	検査機の結果データ連携	0	×	×
	M2上位PC 通信	0	×	0
国際規格化		SEMIと共同で進行中	IPC(米国)規格	1社のローカル規格

●JARAS1014/ELSはSEMI A1がベース SEMI A1の構成

- Data 定義
 - Data Model
 - Data model
 - Header以外はユーザ定義
- General Data転送のための Data Handshake
 - Define state models
 - Logical signals definition
 - Scenarios
- 情物一致搬送のためのMaterial Handshake
 - Define state models
 - Logical signals definition
 - Scenarios
- Media Mapping Rules
 - 種々のMediaへの mapping rule
 - TCP/IP版のSEMI A1.1がある





